



世田谷区議会議員

2018年7月発行

平塚けいじ通信

皆様のいつも変わらぬ温かなご支援に対しまして、心より感謝申し上げます。また、6月18日の朝には大阪北部において、震度6弱の地震が発生致しました。被災をされた皆様には、衷心よりお見舞いを申し上げます。

私共の暮らす世田谷区におきましても、首都直下型地震がいつ起きててもおかしくない状況にあります。その危機感ゆえに、4月から地域ごとに防災のタウンミーティングを開催して参りました。これからも、皆様のお役にたてる区議会議員を目指して、日々精進して参ります。皆様のご指導ご鞭撻のほど、何卒宜しくお願い致します。



平成30年第1回区議会定例会一般質問より

区道の無電柱化の推進について

そもそも無電柱化は、安全で快適な歩行空間の確保、都市景観の向上、都市防災機能の強化が目的であり、世田谷区においても平成8年から計画的に取り組んでいるが、現在進行中の平成26年から30年度までの5年間の計画の進捗状況を確認しても予定に達しない状況である。区道全体でも1914kmのうち、12kmしか整備が



進んでおらず、整備率では1.1%に留まっている。

東京都は平成30年度予算において、無電柱化チャレンジ支援事業として、工事が難しい幅員の狭い道路の無電柱化に取り組もうとする市区町村に対し、国と東京都が工事費などを全額補助し、担当職員を派遣して技術的な支援も行うという計画を立てている。当該制度を活用して、緊急輸送道路などの無電柱化を積極的に進めるべきである。

【答弁】制度を活用して新技術を研究するなど、無電柱化を推進する。

不登校対策の強化について

世田谷区の不登校児童生徒数は、平成27年度小学校が168人、中学校346人、合計514人と全国的な傾向と同様に増加傾向にあり、出現率も高水準で推移していて、平成28年度も微増傾向にある。

そこで、他区の様に心理教育相談員などの福祉の専門家による支援チームを編成して、学校や保護者からの要請に基づき早期から対策を講じる体制をつくれ。

更に、不登校児童生徒やその家族に寄り添い続けて社会的自立を目指す支援が必要だ、先に求めた福祉の専門家による支援チームがその役割を担うべきではないのか。

【答弁】現行のチーム拡充に向けて専門家による支援のあり方を検討する。さらに関係機関と連携して、一人ひとりに寄り添い続けて支援を行う。

皆様のご意見・ご要望を区議会公明党までお寄せ下さい。

自 宅

〒154-0022 世田谷区梅丘2-8-9
Tel/Fax. (3420) 0240
E-mail:keiji@hiratsuka-net.com

区議会公明党

〒154-8504 世田谷区世田谷4-21-27
Tel. (5432) 2788 Fax. (3413) 7233
<http://www.komei-setagaya.org>

